



愛隣幼稚園・・・・・・・・・・・・・・・・

園だより

・・・・・・・・・・・・・・・・ 10.1月号

お父さんは“HERO！”

愛隣幼稚園では、6月と1月に「家庭参加日」という日を計画しています。幼稚園が週5日になって、それまでは土曜日になるとたくさん見られたお父さんとの登園風景がなくなりました。平日にお休みのあるお父さんは幼稚園に来る機会がありますが、土日休みのお父さんにはそういった機会がなくなってしまいました。先生たちも、お父さんに出会うチャンスが少なくなってしまったことを残念に感じていました。そこで、この日には是非、父子で幼稚園に来て楽しい時間を過ごして欲しい。お父さんたちにも子どもたちの幼稚園生活の仲間であって欲しい。そう願って「家庭参加日」が計画されました。最初は、先生たちがセッティングした遊びのコーナーに父子で参加するという日でした。(今でも6月はこの形式の企画が主になっています。)それが おやじの会 の発足と相まって、1月の家庭参加日は積極的な形でのお父さん参加型「家庭参加日」に形を変えてきています。そして、ついに今年は“おやじステージ”なるものも登場し更に中身の濃い1日となりました。たくさんのお父さん、そしてお母さんのご協力に感謝します。

登園1時間前からたくさんのお父さんたちが準備を手伝って下さいました。火起こしも、餅つきも、焼きそばも、ほとんどおまかせで事が進んでいきます。初めてのお父さん、もう何回も経験しているお父さんと様々でしたが、技とコツはもちろん、何と言ってもこの日の楽しみ方が伝授されたように思われます。おやじステージにも6人のお父さんが名乗りを挙げて下さいました。普段、見ることのできないお父さんの姿に、子ども達が吸い込まれるように見入っていました。そして、子ども達と一緒にこの日を楽しんで過ごして下さった、たくさんのお父さんたち。ちょっと照れ臭そうな笑顔あり、満面の笑顔あり、父子の関係もほんの少し垣間見ることができました。楽しい1日が終わり手をつないで帰って行く姿、子ども達がお父さんの姿を見上げる視線。それはお母さんと手をつないでいる時にはない視線。何人もの子ども達が眩しそうにお父さんの顔を見上げていました。この日のお父さんってきっとそんな存在だったのでしょうか。

昨年秋、FUNKY MONKEY BABYSというグループの ヒーローという歌を初めて耳にしました。(そうそう、紅白にも出ていました)

最寄り駅の改札抜ければ いつもよりちょっと勇敢なお父さん Hero!

その背中に愛する人の声がある・・・・・・・・

1日、1週間をめいっぱい働いたお父さん。きっと休日の大半を“ヒーロー”とは程遠い姿で過ごしたのはず。それがきつとこの歌詞のように仕事場に向かう途中で、「よし、今日も頑張るぞ!」と、子ども達が見たこともないような“ヒーロー”に変身するのでしょうか。私は父ではないのでこれは想像の域でしかありません。(が、私自身も幼稚園に向かいながら少なからず変身しています。)この瞬間のお父さんに、もし子どもが出会えたら・・・きっと息を呑むことでしょう。見たこともない圧倒的な存在として子どもが父親に出会う時、親は子のモデルとなり、壁となる。自分を守ってくれる壁、憧れながらも、越えていくべき壁になるのではないのでしょうか。いつも“ヒーロー”は無理です。時々でいいのです。“ヒーロー”になれるなんて、ステキです!

お父さんのための「園だより」でした。